教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行状況の点検・評価

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項)

(令和元年度)

令和2年5月

君津市教育委員会

目 次

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

	頁
一 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
二 点検・評価に関する報告の内容について・・・・・・・・	1
三 取組状況及び点検・評価結果の概要・・・・・・・・	1

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

	頁
一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等・・・・・・・・	2
1. 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・	2
2. 教育委員会会議の審議・報告事項・・・・・・・・	2
(1) 審議内容・・・・・・・・	2
(2) 報告事項・・・・・・・・	5
3. 教育委員会協議会の協議事項等・・・・・・・・	6
二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項・・・・・・・・	7
三 第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果・・・・・・・・	7
1. 令和元年度評価基準の概要・・・・・・・・	7
2. 点検及び評価結果・・・・・・・・	8
(1) 基本目標1 子どもたちにとってよりよい教育環境の整備による 学校の活性化・・・・・・・・	8
(2) 基本目標2 人生を主体的に切り拓く「生きる力」を育む学校教育の推進・	10
(3) 基本目標3 健康でいきいきとした生活づくり・・・・・・・・	13
(4) 基本目標4 市民一人一人が学び、活動できる環境づくり・・・・・・・・	15
(5) 基本目標5 いきいきとした地域コミュニティづくりと 地域ぐるみで青少年を育む環境の醸成・・・・・・・・	18
(6) 基本目標6 豊かな学びと心を育む文化振興の充実・・・・・・・・	20
評価結果集計・・・・・・・・	21

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

一 点検・評価の目的

効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たす観点から、教育委員会では、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものです。

二 点検・評価に関する報告の内容について

次の3項目の状況について報告します。

1. 教育委員会会議及び教育委員会協議会の開催状況と審議・協議事項について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員による案件の審議や主要事業の協議を行っており、その開催状況と審議・協議事項について報告するものです。

2. 総合教育会議の開催状況と協議・調整事項について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、市長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくために設置された会議で、その開催状況と協議・調整事項について報告するものです。

3. 第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの点検・評価結果について

本プランは、本市の教育の充実・発展を目指した教育行政を推進するため、平成30年度からの5か年を見通した「君津市教育振興基本計画」です。

本プランの点検・評価は、地域やPTAを含めた有識者などを構成員とする「第三次きみつ教育 創・奏5か年プラン評価検討委員会」を設置し、実施状況を調査・分析して、総合的な評価を行っており、その結果をまとめて報告するものです。

三 取組状況及び点検・評価結果の概要

1. 教育委員会会議の開催状況及び審議・協議事項（令和元年度）

令和元年度は教育委員会会議を12回開催し、審議案件52件、報告事項76件について審議しました。また、協議の必要な事項等については、教育委員会協議会を開催しており、協議案件23件について協議し、事務を執行しました。

2. 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項（令和元年度）

令和元年度は総合教育会議を3回開催し、4件の議事について協議・調整を行いました。

3. 第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果（令和元年度）

第三次きみつ教育 創・奏5か年プランは、6つの基本目標のもと、15の重点目標を設け、その達成に向け努めております。

令和元年度は本プランの2年目であり、台風などの災害や新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による影響を受けた取組もありましたが、家庭、地域、学校、そして行政の連携、協働により、各種教育施策について概ね推進されたものと考えています。

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等

令和元年度に開催された教育委員会会議の開催状況及び審議事項並びに協議会の開催による協議事項は、次のとおりです。

1. 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、毎月定例的に開催しています。

令和元年度は12回開催し、教育委員会の事務執行内容等について審議しました。

2. 教育委員会会議の審議・報告事項

(1) 審議内容

人事関係 19件、条例・規則関係 18件、教育行政の運営関係 8件、予算・議会関係 7件の合計 52件の審議を行いました。

区分	審 議 事 項
人事関係	1. 社会教育委員の委嘱について
	2. 公民館運営審議会委員の委嘱について
	3. 周西南中学校区学校運営協議会委員の任命について H31. 4. 25
	4. 下町集会所運営委員会委員の委嘱について
	5. 学校開放運営委員会委員の委嘱について
	6. 学校開放管理指導員の任命について
	7. 小中学校体力向上プロジェクト委員の委嘱について
	8. 図書館協議会委員の委嘱について
	9. 平成31年度教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について
	10. 学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について R元. 5. 21
	11. 教育支援委員会委員の委嘱について
	12. 通学区域審議会委員の委嘱について
	13. 子どもの読書活動推進委員会委員の委嘱について
	14. 学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について
	15. 周西南中学校区学校運営協議会委員の任命について R元. 11. 15
	16. 学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について R元. 11. 15
	17. 令和元年度君津市優秀な教職員表彰について
	18. 学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師の委嘱について
	19. 周西南中学校区学校運営協議会委員の任命について R2. 3. 27

区分	審 議 事 項
条例・規則関係	1. 君津市教育委員会行政文書管理規程の一部を改正する訓令の制定について H31. 4. 25
	2. 平成31年度教科用図書君津採択地区協議会規約の制定について
	3. 君津市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	4. 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	5. 君津市小中学校情報セキュリティ基本方針に関する規則の制定について
	6. 君津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	7. 君津市立小学校及び中学校の学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	8. 君津市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について
	9. 君津市立小学校の小規模特認校の取扱いに関する要綱を廃止する告示の制定について
	10. 君津市文化財の保護に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	11. 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について
	12. 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定について
	13. 君津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則の制定について
	14. 君津市教育委員会行政文書管理規程の一部を改正する訓令の制定について R2. 3. 27
	15. 君津市生涯学習バス運営規則の一部を改正する規則の制定について
	16. 君津市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	17. 君津市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
	18. 君津市地域交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

区分	審 議 事 項
教育行政 の運営関 係	1. 平成31年度君津市教育行政方針について
	2. 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
	3. 君津市立図書館の臨時休館について
	4. 令和2年度使用教科用図書の新採について
	5. 教育財産（旧平山共同調理場）の用途廃止について
	6. 君津市学校再編第2次実施プログラムについて
	7. 教育財産（秋元小学校、三島小学校、松丘中学校、亀山中学校）の用途廃止について
	8. 令和2年度教育重点施策について
予算・議 会関係	1. 令和元年度君津市一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	2. 令和元年度君津市一般会計補正予算（第4号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	3. 君津市小糸スポーツ広場の指定管理者の指定に関する意見について
	4. 令和元年度君津市一般会計補正予算（第7号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	5. 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見について
	6. 令和元年度君津市一般会計補正予算（第10号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	7. 令和2年度君津市一般会計予算のうち教育委員会関係予算に関する意見について

(2) 報告事項

教育長が専決処分した事項等について、教育委員会会議で報告しました。

君津市教育委員会行政組織規則第8条の規定に基づき臨時に代理した処理事項 ・令和元年度一般会計補正予算（第6号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応状況について（臨時休校・休館） ・令和元年度君津市一般会計補正予算（第11号・第12号）及び令和2年度君津市一般会計補正予算（第1号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について ・令和2年度教育委員会事務局職員（管理職）及び学校教職員（校長・教頭）の人事について
教育長が出席した主な行事及び出席予定の行事について
専決処分により後援の承認をした行事について
専決処分により補助金の交付を決定した事業について
準要保護児童生徒の認定及び取消しについて
研究会・競技会等の主催・共催行事について
その他重要案件について

3. 教育委員会協議会の協議事項等

学校教育関係 9件、学校再編関係 7件、施設関係 2件、生涯学習・文化振興関係 2件、体育振興関係 1件、その他（制度関係等） 2件の合計 23件について報告を受け、協議を行いました。

区 分	協 議 項 目
学校教育 関係	1. 児童生徒の重大事態に係る事案等の状況及び経過報告について H31. 4. 25
	2. 学校職員の交通事故について
	3. 児童生徒の重大事態に係る事案等の状況及び経過報告について R元. 5. 21
	4. 児童生徒の重大事態に係る事案等の状況及び経過報告について R元. 7. 22
	5. 市内中学校における生徒指導上の問題案件について
	6. 君津市立中学校におけるいじめ重大事態について R元. 10. 24
	7. 君津市立中学校におけるいじめ重大事態について R元. 11. 15
	8. 君津市立中学校におけるいじめ重大事態等について
	9. GIGAスクール構想（1人1台パソコンの整備）について
学校再編 関係	1. 学校再編第2次実施プログラム（案）について H31. 4. 25
	2. 学校再編第2次実施プログラム（案）について R元. 5. 21
	3. 学区の弾力化について
	4. 学校再編（第2次実施プログラム（案）策定）の進捗状況について R元. 8. 30
	5. 学校再編（第2次実施プログラム（案）策定）の進捗状況について R元. 9. 26
	6. 学校再編第2次実施プログラム（案）について R元. 10. 24
	7. 学校再編の取り組み状況について
施設関係	1. 小・中学校普通教室へのエアコン設置の進捗状況について H31. 4. 25
	2. 小・中学校普通教室へのエアコン設置の進捗状況について R元. 8. 30
生涯学習 文化振興 関係	1. 社会教育施設再整備（第1期プラン（案）策定）の進捗状況について
	2. 成人を祝う集いの今後のあり方について
体育振興 関係	1. 学校プールの集約化について
その他	1. 会計年度任用職員制度の導入について
	2. 教育委員会の重点施策（案）について

二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項

総合教育会議は、必要に応じて随時開催しています。

令和元年度は3回開催し、以下の議事4件について協議・調整を行いました。

開催日	協議・調整事項
令和元年10月24日	君津市学校再編第2次実施プログラム（素案）について
令和2年 2月 3日	君津市学校再編第2次実施プログラム（案）について
令和2年 3月27日	令和2年度教育重点施策（案）について
	君津市立中学校におけるいじめ重大事態について

三 第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果

1. 令和元年度評価基準の概要

「重点目標」の評価については、それぞれの取組ごとに、次のとおり、S・A・B・Cの4区分で評価しました。

数値目標のあるもの：

数値目標（最終年度目標値）に対して、S・A・B・Cで評価。

数値目標のないもの：

計画期間に係る実施事業の取組状況に対して、S・A・B・Cで評価。

S	目標値に対して、成果が100%以上。 予定通り実施
A	目標値に対して、成果が90%以上から100%未満であった。 概ね予定通り実施（90%～100%未満）
B	目標値に対して、成果が50%以上～90%未満であった。 予定の半分程度実施（50%～90%未満）
C	目標値に対して、成果が50%未満であった。 その他（50%未満）

2. 点検及び評価結果

(1) 基本目標 1

子どもたちにとってよりよい教育環境の整備による学校の活性化

【現状と施策の方向性】

学校は、社会的自立の基礎、社会の形成者としての基本的な資質を養う場であり、児童生徒が豊かな人生を送ることができるよう、活力ある魅力的な学校づくりを推進することが重要です。

児童生徒が一定規模の集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の能力を伸ばすことができる学校づくりとして、適正規模・適正配置を推進します。

また、同時に、時代にあった新しいタイプの学校づくりについても調査・研究し、学校や地域性を生かした特色ある学校づくりを目指し、活力ある魅力的な学校づくりを推進していく必要があります。

さらに、学校施設は児童生徒の学習や生活の場として重要な役割を担うほか、地震などの大規模災害時には地域住民の避難所となることから、老朽化対策や防災機能の強化等を計画的に行い、安全・安心な施設整備を推進します。

1-1 学校再編の推進

1-2 安全・安心な教育環境の整備

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標 計画当初値 → 目標値 (平成28年度) (令和4年度)	結果	評価
適正規模・適正配置	適正規模を満たす学校数 10校/28校 → -	11校/27校	A
非構造部材の耐震化	学校施設における非構造部材の耐震化率 58.2% → 100%	60.9%	B
トイレの洋式化	学校施設におけるトイレの洋式化率 29.8% → 50%	37.7%	B

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
適正規模・適正配置	<p>災害の影響はあったものの、臨機応変に対応し、統合準備室を開催しました。</p> <p>学校再編の統合第1号となる周東中が開校し、スクールバスの運行も始まり、そのノウハウを活用して、清和小・上総小櫃中開校に向けて、スクールバス運行計画の立案、校章・校歌の制定などを実務的に進めました。</p> <p>地区説明会やパブリックコメントを実施し、第2次実施プログラムを策定しました。</p>	<p>第1次・第2次実施プログラムを円滑に遂行するために、計画的に統合準備室を開催します。</p> <p>小糸小・上総小開校に向けて、スクールバス運行計画の立案、校章・校歌の制定などを実務的に進めます。</p> <p>第3次実施プログラムの策定に向けて、地区説明会やパブリックコメントを実施し、市民の意見を聴取するとともに理解を得ます。</p>
非構造部材の耐震化	<p>中小、旧清和中、小櫃中における統合改修工事に併せて、窓ガラスの飛散防止や強化ガラスの設置など非構造部材の耐震化を実施しました。</p>	<p>周西南中の屋内運動場大規模改修に併せて、吊り下げ式バスケットゴールの更新、照明器具の落下防止、強化ガラスの設置など非構造部材の耐震化を実施します。</p>
トイレの洋式化	<p>周西中トイレ改修工事が完了し、同校の洋式化率は72.4%となりました。</p> <p>また、計画的な洋式化を推進するため、周南中トイレ改修に係る実施設計を行いました。</p>	<p>今年度の実施設計に基づき、周南中の教室及び管理棟と屋内運動場のトイレ改修を実施します。</p> <p>また、周西南中の屋内運動場大規模改修に併せて、同施設のトイレ改修を行います。</p>

③ その他 特記事項

小・中学校空調設備設置事業

猛暑に伴う熱中症対策のひとつとして、小中学校の普通教室にエアコンを設置し、児童生徒の快適な学習環境を整備しました。

災害復旧事業

令和元年台風15号・19号により被害を受けた小中学校施設の修繕及び復旧を行いました。

特色ある学校づくり

周南小・中学校における小中一貫教育や、周西南中学校区におけるコミュニティ・スクールについて、各種取組を推進しました。

(2) 基本目標 2

人生を主体的に切り拓く「生きる力」を育む学校教育の推進

【現状と施策の方向性】

グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、将来の予測が難しいといわれるこれからの社会の中で、その加速度的な変化を受け止め、志高く未来をつくりだしていくために必要な資質・能力を育む学校教育の推進が求められます。

児童生徒が、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やか体」の調和がとれた「生きる力」を育み、様々な課題に直面したときにも、自ら判断・行動し、主体的に人生を切り拓き、未来を創造する骨太の人間を育てることを目指します。

そのために学校教育では、確かな学力をつけるとともに、グローバル人材の育成、情報活用能力、地域創生にもつながるキャリア教育など、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に取り組めます。

また、特別支援教育、いじめ防止対策を含む生徒指導の充実、学びのセーフティネットの構築など、児童生徒の学びを支える体制づくりを進めます。

- 2-1 人格形成の基礎を養う幼児教育の振興
- 2-2 新しい時代に必要となる資質・能力の育成
- 2-3 道徳性を高める実践的人間教育の推進
- 2-4 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- 2-5 確かな生徒理解と組織的対応による生徒指導の充実
- 2-6 児童生徒の学びを支える体制整備

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標 計画当初値 → 目標値 (基準年度) (令和4年度)	結果	評価
学力向上推進事業	「友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答えた児童生徒の割合 小学6年生 65.2% → 75% 中学3年生 65.4% → 75% (平成29年度)	小学6年生 78.6% 中学3年生 71.4%	A

実施事業（取組）	指 標 計画当初値 → 目標値 (基準年度) (令和4年度)	結果	評価
道徳・人権教育推進事業	「家庭や地域に向けた道徳の授業公開」の実施率 小学校 92.8% → 増加を目指す 中学校 69.5% → 増加を目指す (平成28年度)	小学校 100% 中学校 98.6%	S
いじめ防止対策の推進	「いじめはどんな理由であってもいけないこと」と考えている児童生徒の割合 小学校 94.9% → 100% 中学校 93.6% → 100% (平成29年度)	小学校 96.4% 中学校 96.0%	A

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
学力向上推進事業	4月初めの校長会議や教務主任研修会で、本市の学力状況や学力向上の取組について周知をしました。 6月及び1月に学力向上担当者会議を実施し、「君津市の授業モデルリーフレット」の活用方法や「言語活動実践事例集」について説明し、授業改善につながる具体的な実践例を紹介しました。	「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善が進められるように、「君津市の授業モデル」を参考に、対話的な活動を学習過程に位置付け、習得・探求・活用をする学習を進められるようにしていきます。 また、各学校の校内研修で授業改善が進められるよう、学力向上担当者会議等で情報提供をしていきます。
道徳・人権教育推進事業	今年度の目標値を小中学校ともに100%とし、4月初めの校長会議や道徳教育推進教師研修会で周知しました。 夏季休業中には、「特別の教科道徳」に対応した授業づくりというテーマで道徳研修会を行ったところ、48名もの参加者があり、課題意識の高さが伺えました。	道徳の授業公開の目的をより深く教職員に理解させていくことで、家庭や地域とともに心の教育を推進できる地盤作りを進めていきます。

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
いじめ防止対策の推進	<p>今年度から、いじめの早期発見のため、市内で統一した児童生徒用「いじめアンケート」を作成し、活用しました。</p> <p>いじめ防止推進のため、中学校合同生徒会では8/23に「いじめ防止フォーラム」を開催し、12/12の合同生徒会全体研修会では、「OMOIYARI 運動」を継続して取り組むことを確認しました。</p> <p>SNS を活用した相談窓口「Stop it」では、33名の登録及び延175回の相談があり、生徒の悩みに寄り添うことができました。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、小中学校10校で14件の相談に対応し、関係機関とスムーズに連携を図ることができました。</p>	<p>児童生徒へ「いじめアンケート」を少なくとも学期に1回、年3回実施します。</p> <p>また、いじめを発見したときには、傍観者にならず、止めたり、誰かに相談したりするなど、積極的にいじめ防止に対応できるよう指導していきます。</p> <p>さらに、SNS を活用した相談窓口やスクールソーシャルワーカーを有効に活用し、いじめの早期発見、早期解決につなげていきます。</p>

③ その他 特記事項

□幼児教育無償化事業

一部改正された子ども・子育て支援法により、令和元年10月から幼児教育無償化事業を実施しました。私立幼稚園児にかかる保育料等を無償とし、保護者の負担軽減を図りました。

保育料対象者（令和2年3月） 981名

□コチニン検査実施

小学4年生の希望者を対象に、コチニン検査を実施し、受動喫煙被害防止に努めました。

実施者 467名（参考：小学4年生 574名）

□校務支援システム更新

令和2年4月から児童生徒の出欠や成績などの情報について一元管理するとともに、操作性などの機能を向上させ、教職員の勤怠管理まで処理することができる新統合型校務支援システムを導入することで、情報漏洩防止の強化や、教職員の働き方改革の推進を図りました。

(3) 基本目標3

健康でいきいきとした生活づくり

【現状と施策の方向性】

生涯にわたっていきいきとした生活を送るためには、健康的な生活習慣の確立が必要です。健康の保持増進に向けて、健康三原則（運動・栄養・休養）を中核とした生活習慣の確立を目指し、児童生徒の発育発達に即した体力づくりを充実させます。

また、社会体育の普及について力を入れ、「いつでも・どこでも・誰とでも・いつまでも」運動に親しみやすい環境を目指します。

さらに、スポーツを観ることで、スポーツへの関心が高まり、結果的に地域で「支えるスポーツ」へとつながっていくことにもなります。観て楽しむことができるスポーツイベントの開催や招致、多様なスポーツ関連情報の発信により、時代にあった「観る」スポーツを推進します。

- 3-1 学校体育活動の充実
- 3-2 児童生徒の食育の推進
- 3-3 スポーツ・レクリエーション活動機会の充実
- 3-4 「観る」「支える」スポーツの推進

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標		結果	評価
	計画当初値 (平成28年度)	→ 目標値 (令和4年度)		
体力向上プロジェクト事業	運動好きな児童生徒の割合		小学 男子 79.5% 女子 69.8%	S
	小学男子 67.2% → 75.0% 女子 55.7% → 60.0%	中学男子 53.7% → 65.0% 女子 42.8% → 50.0%	中学 男子 75.1% 女子 60.7%	
生涯スポーツ推進事業	千葉県運動能力証合格率		小学校 40.3% 中学校 32.7%	B
	小学校 45.0% → 50.0% 中学校 35.7% → 40.0%	各スポーツ大会等参加者数	1,327人	
	1,682人 → 2,000人			B

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
体力向上プロジェクト事業	<p>運動好きな児童生徒の割合</p> <p>体力向上プロジェクト委員会で作成した既存資料を役立てることができました。小学校における「育てる体育」実践の効果であると考えます。児童生徒が、積極的に運動に取り組めるよう努めました。</p>	<p>更なる向上を目指し、体育主任を中心として小中学校の連携を図っていきます。</p> <p>また、現在進行中の運動と健康に関する資料や短時間で効果的な運動方法についてまとめ、資料の活用を促します。</p>
	<p>千葉県運動能力証合格率</p> <p>小学校は、夏季体育主任研修会の内容をいかし、記録向上のポイントや練習方法の実践に努め、中学校は、正課時体育の充実により、体力・運動能力の向上に努めました。</p>	<p>体力向上プロジェクト委員会と体育主任を中心とした小中学校の連携により、自ら進んで運動に親しむ児童生徒の育成について、知識と技能の定着と実践力の育成に努め、実績値の向上を図ります。</p>
生涯スポーツ推進事業	<p>引き続き、より多くの方の目に触れるよう SNS 等を活用して周知を行いました。飛躍的な参加者の増加はありませんでしたが、概ね例年並か昨年より多くの参加があり、ある程度の効果がありました。</p> <p>大会当日は、スポーツ推進委員やスポレク推進員と連携し、怪我や事故なく、円滑に開催することができました。</p>	<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックが令和 3 年度開催へ延期となり、大会の周知と合わせて、スポーツに対する関心を高めていきたいと思えます。</p> <p>また、状況を踏まえ、新規参加者の獲得だけでなく、大会の参加者が別の大会や次年度も引き続き参加してもらえるよう、反省と改善を行い、大会の充実を図ります。</p>

③ その他 特記事項

「小中学校における水泳指導とプール施設のあり方に関する基本方針」策定

平成 30 年度からの試行の成果と課題をもとに、効果的な水泳指導のあり方とプール施設の集約化について、基本方針を策定しました。

学校給食共同調理場の供用開始

平成 31 年 4 月から市内の小中学校へ給食の提供を開始しました。新調理場の稼働後も、引き続き安全で安心な学校給食の提供に努めました。

学校給食食物アレルギー対応

令和元年 7 月にアレルギー専門医や保護者、養護教諭などを構成員とした検討委員会を立ち上げ、食物アレルギーへの対応について検討を行い、代替食を提供することを決定しました。

(4) 基本目標4

市民一人一人が学び、活動できる環境づくり

【現状と施策の方向性】

市民一人一人が心豊かな生活を送り、文化の薫り高いまちづくりを進めるためには、市民誰もが主体的に様々なことを学び、活動し、それらから育んだ様々な力や可能性を生かすことのできる社会にすることが重要です。

公民館では、地域や時事の状況に応じた学級講座の開催や、人々の交流を深める行事の開催、地域活動へのサポートなどを行っています。

また、図書館では、子どもから大人までが読書に親しみ、日常生活のヒントとなるような資料の提供、図書に関する相談業務などを行っています。

子どもから大人まで、一人一人が学び、その成果を生かすことができる環境の醸成を目指し、公民館や図書館など社会教育の充実を図ります。

- 4-1 公民館の活用の推進
- 4-2 子どもの読書活動の推進
- 4-3 図書館サービスの推進
- 4-4 施設の効果的な維持・更新・整備

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標 計画当初値 → 目標値 (基準年度) (令和4年度)	結果	評価
公民館の活用の推進	公民館の年間利用者数 410,820人 → 430,000人 (平成28年度)	332,055人	B
子どもの読書推進	読書が好きな子どもの割合 小学5年生 82.9% → 増加を目指す 中学2年生 78.6% → 増加を目指す (平成30年度)	小学5年生 84.9% 中学2年生 81.8%	S
市民の学習活動の支援	図書館での問合せ・調査の処理件数 9,500件 → 10,000件 (平成28年度)	9,634件	A

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
公民館の活用の推進	<p>9・10月に台風等の影響によって公民館が長期にわたり避難所となったことや、3月に新型コロナウイルス感染症拡大予防措置を実施した影響により、休館や主催事業の中止、利用キャンセルなどが相次ぎ、利用人数が大幅減少となりました。</p>	<p>中止せざるを得なかった事業の代替事業などを柔軟に検討しながら、新規利用者の拡大を図るために、8公民館連携による事業の取組のほか、既存事業のあり方の見直しなどを進め、より幅広い人に活用される公民館事業を展開します。</p>
子どもの読書推進	<p>君津子ども読書月間アンケートからは、小中学校をはじめほとんどの機関が月間に関わらず日常的に読書に取り組んでいる様子が伺えました。</p> <p>また、図書館のおすすめ本コンテスト作品を公民館で巡回展示するなど、関係機関で連携し啓発を行いました。</p>	<p>引き続き関係機関と連携し、子どもたちが生活のあらゆる場面において読書に親しむことのできるよう、情報発信と啓発に力を入れていきます。</p>
市民の学習活動の支援	<p>図書館を市民の「知の拠点」とするため、開館時間の延長、祝日開館、無料 Wi-Fi 環境の整備、国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始により、利便性の向上を図りました。</p> <p>また、10月に経済振興課と連携し、君津商工会議所主催の起業セミナーにおいて、商用データベースを含めたビジネス支援サービスを紹介しました。</p> <p>職員のスキルを向上し、サービスを充実させていくため、2月に「ビジネスライブラリアン講習会」に参加しました。</p>	<p>引き続きビジネスユーザーの利便性向上を目指し、講座等の実施や職員のスキルアップに取り組みます。</p> <p>あわせて、ビジネスに関するパスファインダー（調べ方案内）の作成や、資格情報コーナーの設置を行います。</p>

③ その他 特記事項

□社会教育施設の再整備

平成31年3月に策定した「君津市社会教育施設の再整備基本計画」に基づき、清和公民館の再整備を主な内容とする「第1期プラン」の策定に向け、ファシリティマネジメント検討部会にて、清和地区における複合化や第1期プランの策定スケジュールなどについて検討、調整を行いました。第1期プランについて、令和2年度中の早期策定を目指します。

□生涯学習バスの利用見直し

公共のバスとしてよりよい運行と公平な利用を図るため、社会教育委員会議における意見聴取などを経て、令和2年3月に運営規則の一部を改正し、公的事業における利用と一般・社会教育関係団体による使用の範囲、使用回数の明確化などを行いました（令和2年4月施行）。

(5) 基本目標5

いきいきとした地域コミュニティづくりと地域ぐるみで青少年を育む環境の醸成

【現状と施策の方向性】

いきいきとした地域づくり、コミュニティづくりの推進のために、社会教育は大きな力を発揮します。特に、地域・学校が新たな時代を迎える中、社会教育にも大きな期待が寄せられています。

青少年の健やかな成長のためには、学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で支えることが重要であることから、連携をより一層深め、安全・安心な地域づくりを目指します。

5-1 いきいきとした地域コミュニティづくりの支援

5-2 地域ぐるみで青少年を育む環境の醸成

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標 計画当初値 → 目標値 (平成 28 年度) (令和 4 年度)	結果	評価
まちづくりふれあい講座	受講件数 44件 → 50件 利用者数 1,424人 → 1,500人	受講件数 42件 利用者数 1,771人	A
放課後子供教室の安定運営	実施回数 年8回開催 → 開催回数の増加 対象学年 1～3年生対象 → 対象学年の拡大	実施回数 年7回開催 対象学年 1～3年生対象	B

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
まちづくりふれあい講座	<p>台風災害により、講座のキャンセルがありました。</p> <p>高齢化している団体が多い中で、学校や保育園からの申込みもありました。</p> <p>福祉、防災講座の受講者が増えました。</p>	<p>引き続き、市民のニーズにあった講座を行います。</p> <p>また、今年度の災害経験などを活かした講座を組み込めるよう検討していきます。</p>
放課後子供教室の安定運営	<p>コーディネーターを1名増やし、2名体制にしました。</p> <p>災害により、予定のうち1回を中止にしました。</p> <p>毎回10名程度のスタッフが参加し運営が安定してきたため、令和2年度は対象学年を拡大することとしました。</p>	<p>対象学年を4年生まで拡大します。</p> <p>令和3年度以降、段階的に対象学年を拡大し、実施回数を増やせるよう、コーディネーター、スタッフによる自立した運営を支援します。</p>

(6) 基本目標6

豊かな学びと心を育む文化振興の充実

【現状と施策の方向性】

ゆとりと温もりのある地域社会をつくり、文化の薫り高いまちづくりに結びつけるためには、市民一人一人が、過去から現在まで繋がる君津の様々な文化資源に触れ、体験できる機会が必要です。

優れた音響施設を有する君津市民文化ホールを文化芸術の拠点とし、多彩な文化芸術に触れる機会の提供と、市民による地域に根ざした文化活動を支援し、活力ある文化のまちづくりを推進します。

また、郷土の歴史、自然、文化遺産を保護し、次世代へ継承するとともに、それらを活用し、子どもから大人まで心豊かに学び、ふるさと君津への愛着を育むことを目指します。

- 6-1 文化芸術に触れ親しむ環境づくり
- 6-2 文化振興のための市民活動の支援
- 6-3 文化財の保護と活用
- 6-4 地域に残る伝統文化の保護と継承

① 重点目標及び評価

実施事業（取組）	指 標	結果	評価
	計画当初値 → 目標値 (平成 28 年度) (令和 4 年度)		
君津市民文化ホールを拠点とした文化芸術事業の実施	君津市民文化ホールの年間利用者数 163,244人 → 174,000人	152,251人	B
文化財を有効に活用した事業の実施	活用事業への年間参加者数 2,124人 → 増加を目指す	1,415人	B

② 取組状況と次年度の取組目標

実施事業（取組）	取組状況	次年度の取組目標
君津市民文化ホールを拠点とした文化芸術事業の実施	平日の空き時間等を有効利用できるよう自主事業を実施しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日より臨時休館となり、全事業の実施はできませんでした。	文化ホール開館30周年を迎える次年度は、地域に元気な活力を生み出すべく、各種主催事業を積極的に展開し、利用促進を図ります。
文化財を有効に活用した事業の実施	台風の影響で中止した久留里城址資料館企画展との連携事業は、関係者との日程調整がつかず、年度内実施はできませんでした。	多くの市民が関心を持って参加できる事業内容や対象者の年齢、参加しやすい日程等を検証しながら、参加者数の増加を目指します。

評価結果集計

区分	S	A	B	C	その他	計
基本目標1		1	2			3
基本目標2	1	2				3
基本目標3	1		2			3
基本目標4	1	1	1			3
基本目標5		1	1			2
基本目標6			2			2
計	3	5	8			16

【評価結果について】

本市の教育振興基本計画に位置付けている、第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの令和元年度評価は上記のとおりです。台風などの災害や新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による影響を受け、施設が通常通り使用できずに事業等が中止になったりした関係で、参加者数や利用者数を指標としている取組については数値が伸びず、評価は低い傾向にあります。目標値に向かって積み上げていく取組などは、順調に推進されているものと捉えています。

その他、創・奏プランの重点目標以外にも、小中学校普通教室へのエアコン設置や幼児教育無償化の実施、学校給食食物アレルギーの対応検討など、その時々課題に対応し、各種施策を推進してまいりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため一定の行動変容が求められている中、今後も状況を的確に捉え、先を見据えて柔軟に対応し、より一層工夫をしながら、教育行政の推進に努めてまいります。